

2020年3月4日
日興アセットマネジメント株式会社

「日興グローイング・ベンチャーファンド」

足元の基準価額の下落について

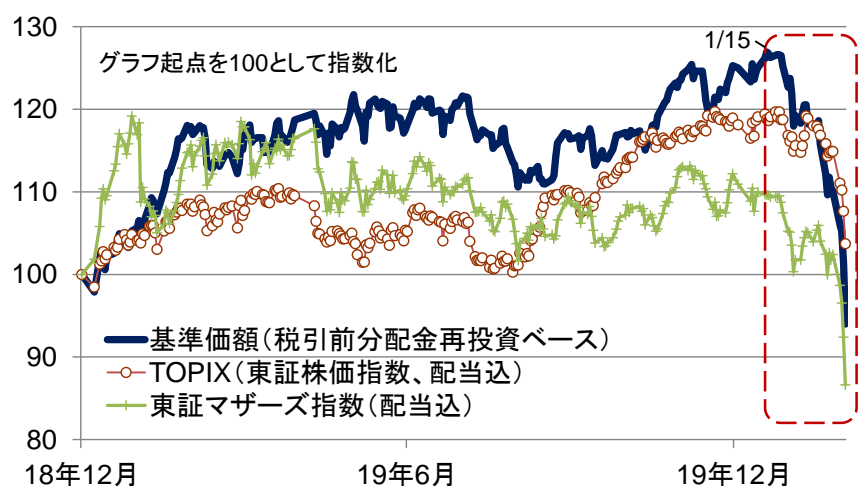
新型コロナウイルスの感染拡大への懸念を背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まるなか、日本の株式市場は大きく下落し、当ファンドの基準価額も下落を余儀なくされました。

本資料では、足元の運用状況と、当ファンドのマザーファンドへの投資助言を行なう投資顧問会社である、エンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメントをご紹介します。

足元で新興株市場は大幅安に

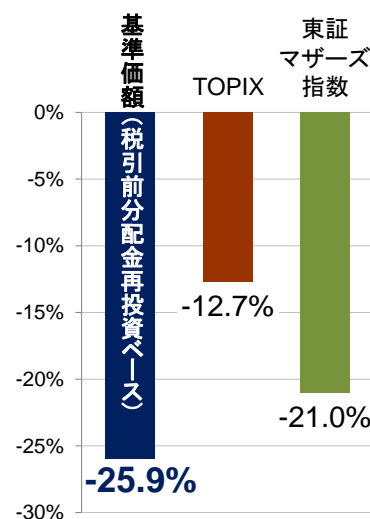
- 2020年1月半ば以降、新型コロナウイルスへの感染拡大への懸念が急速に強まり、世界の金融市場で動揺が広がりました。日本の株式市場も総じて下落基調となるなか、新興株市場では個人投資家の換金売りが広がったことなども押し下げ圧力となり、**東証マザーズ指数は2月末に約4年ぶりの安値**をつけました。こうしたなか、**新興株に投資する当ファンドの基準価額も大きく下落**しました。

＜当ファンドの基準価額(税引前分配金再投資ベース)および主要指数の推移＞
2018年12月末～2020年2月末



新興株が急落するなか、基準価額も大きく下落

＜足元の下落率＞
2020年1月15日～2月28日



※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。
※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※上記指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

足元の市場環境と助言方針について

～エンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメント～

いかなる環境下においても、中長期的な成長力を重視した
徹底的な銘柄厳選を継続

短期的な環境変化に囚われず、新興企業の中長期的な成長力を重視

- 足元の株式市場では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界経済への影響が懸念され、過激な反応が続いています。新型コロナウイルスの感染拡大が長期化すれば、個人消費や企業の生産活動などに影響を及ぼすことが想定されるため、当ファンドの組入企業の短期的な業績にも影響を与える可能性が考えられます。
- エンジェルジャパンでは、経営者との個別直接面談を通じて、組入企業の足元の業績や生産活動、売上などに対する新型コロナウイルスの影響を丹念に確認しています。こうした環境にもかかわらず、現在面談しているなかでは、**非常に前向きに活動している企業が多い**と感じています。
- 当ファンドでは、**短期的な業績動向だけに囚われず、企業の中長期的な競争力・成長力を最も重視**しています。あらゆる業界に、独自の強みを磨きながら成長を目指す企業が必ず存在しており、こうした企業にとっては短期的な環境変化の影響も、むしろ結果的に勝ち組としての足場を固めるチャンスと捉えています。
- 組入企業の成長力については全般的に大きく見方は変わっておりません。したがって、当ファンドの運用助言を行なう立場としても、短期的な悲観的観測に基づく株価調整は、**潜在成長力の高い企業に対しては新規組み入れや買い増しの好機になる**と捉えています。

徹底的な調査活動と銘柄厳選を一貫して継続

- エンジェルジャパンは、当ファンドの設定来、16年以上にわたり幾度となく困難を経験してきました。その間も一貫して徹底した調査活動を継続し、革新的な新興成長企業を厳選し続けてきました。**こうした一貫性が、長期的に良好なパフォーマンスの源泉になっており、ファンド運営には不可欠**であると実感しています。
- これからも常に冷静な視点で、かつチームメンバーの複眼を活かしながら対応してまいりますので、今一層のご信頼を頂ければ幸いです。

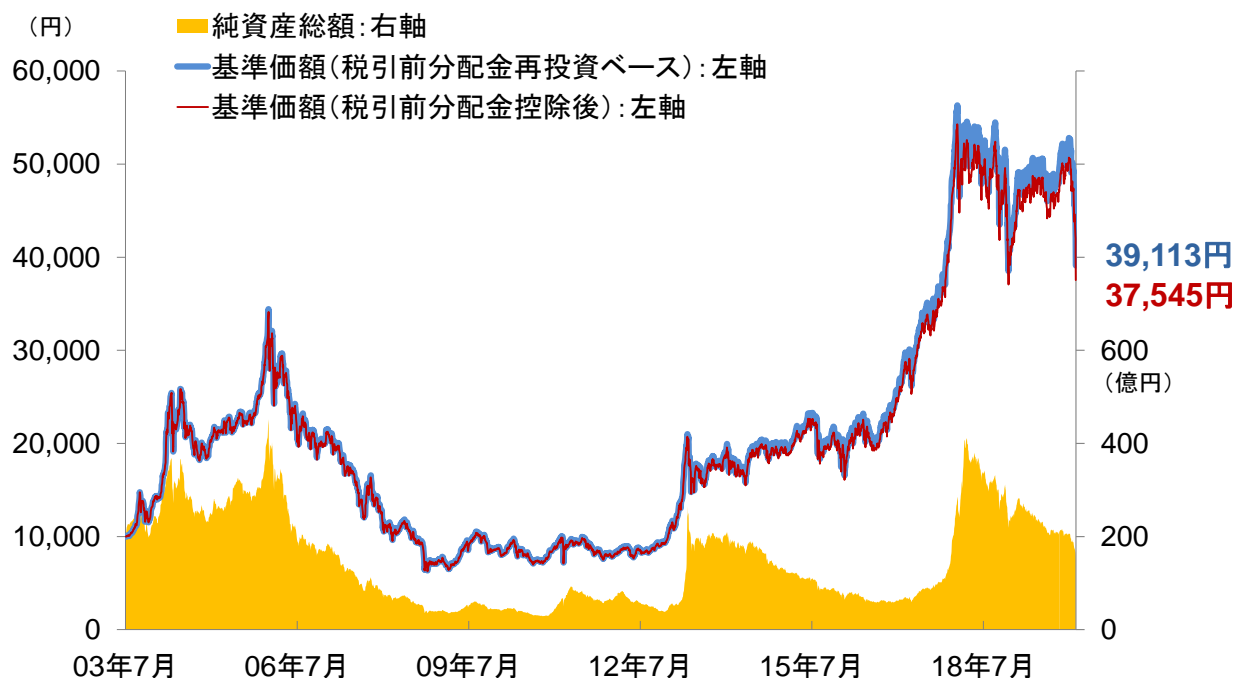
※上記は、「日興グローイング・ベンチャーファンド」のマザーファンドへの投資助言を行なう投資顧問会社であるエンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用実績とポートフォリオの内容

＜設定来の基準価額と純資産総額の推移＞

2003年7月18日（設定日）～2020年2月28日



※基準価額は、信託報酬控除後の1万口当たりの値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。
 ※基準価額（税引前分配金再投資ベース）は、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

＜株式組入上位10銘柄＞

2020年1月末現在

（銘柄数：57銘柄）

	銘柄名	業種	比率
1	ミズホメディー	医薬品	4.00%
2	メニコン	精密機器	3.90%
3	カナミックネットワーク	情報・通信業	3.84%
4	デジタル・インフォメーション・テクノロジー	情報・通信業	3.79%
5	アトラエ	サービス業	3.73%
6	MS-Japan	サービス業	3.59%
7	ジャパンエレベーターサービスホールディングス	サービス業	3.53%
8	インソース	サービス業	3.48%
9	ABホテル	サービス業	3.45%
10	ビジョン	情報・通信業	3.26%

※「株式組入上位10銘柄」はマザーファンドの状況であり、比率は対純資産総額です。
 ※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
 ※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1 高成長新興企業の株式に投資を行ない、信託財産の成長をめざします。

○主として、公開後5年以内のわが国の金融商品取引所上場株式の中から、革新的な高成長新興企業(=グローイング・ベンチャー)に投資を行ないます。

2 エンジェルジャパン・アセットマネジメントによる徹底したボトムアップ・リサーチにより有望企業を厳選します。

3 エンジェルジャパン・アセットマネジメントから投資助言を受けます。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【未上場株式などの組入リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お 申 込 み メ モ

商品分類	追加型投信／国内／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
信託期間	2023年7月18日まで(2003年7月18日設定)
決算日	毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

手 数 料 等 の 概 要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%(税抜3%)以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産 留保額	換金時の基準価額に対し <u>0.5%</u>

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率 <u>2.09%(税抜1.9%)</u>
その他の費用・ 手数料	監査費用、組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに
応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	
碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第66号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)